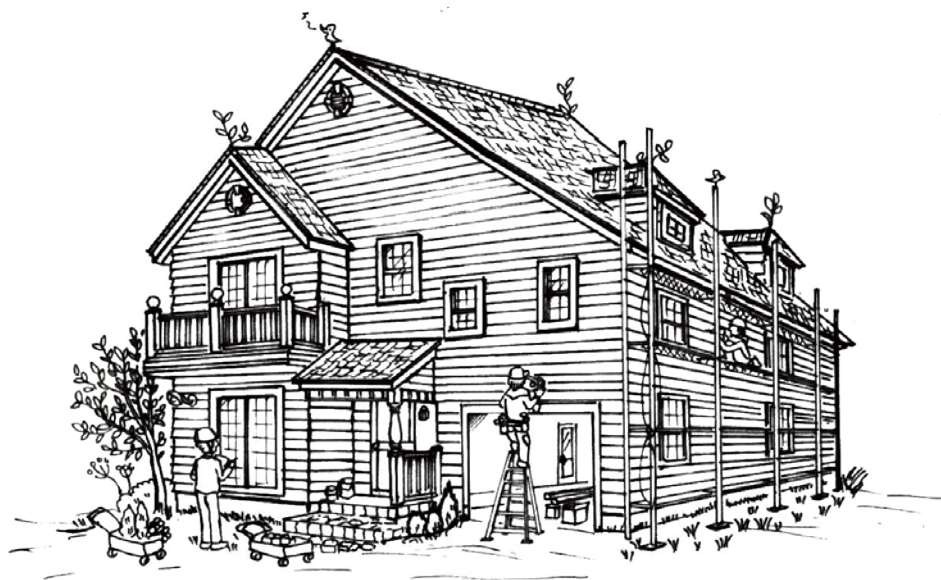




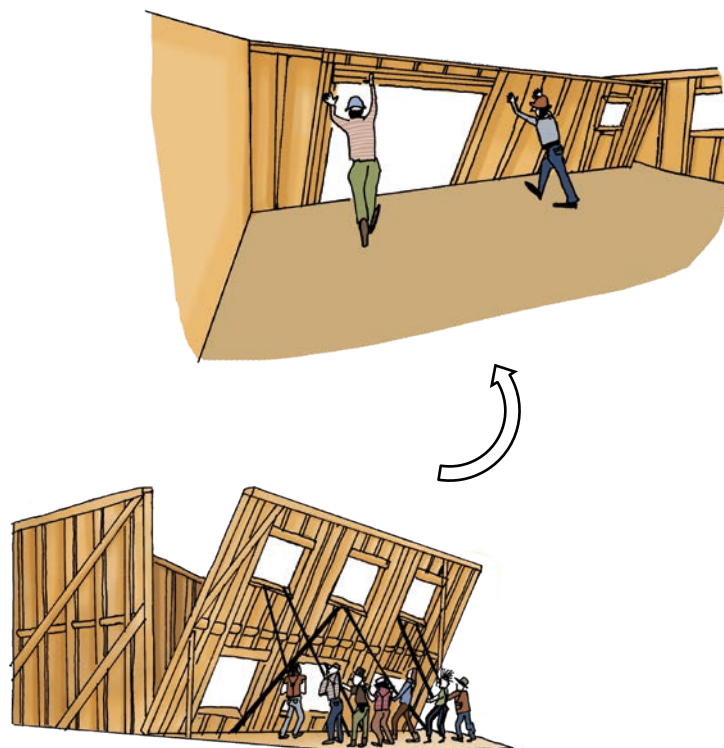
Goodyhomes の 家づくりのノウハウ



グッディーホームズの家は全て
「ツーバイフォー工法」でお造りしています。
なぜなら、わたしたちは、この工法が最も優れていると信じているからです。
その理由と根拠を工法の成り立ちと共にご案内します。

ツーバイフォー工法とは？

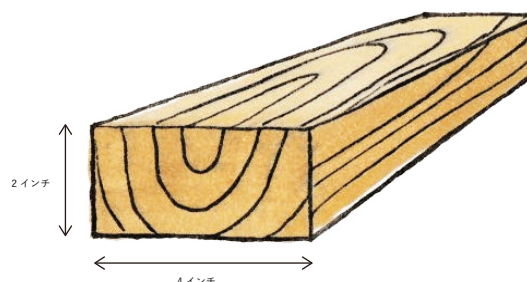
ツーバイフォー工法は、正式には「木造枠組壁工法」といいます。20 世紀の前半にアメリカで確立された建築方法です。よく「木造軸組工法（在来工法）」と比較されることが多いですが、枠組壁工法は、実は軸組工法から出発し、その後「バルーン工法」→「ツーバイフォー工法」と進化していきます。



19 世紀（西部開拓時代）のアメリカも当初は、軸組工法を用いて家を建築していました。しかし、増え続ける圧倒的な移民人口に大工職人が足りず、住宅の供給が不足するという自体が起きていました。そこで生まれたのが「バルーン工法（通し壁工法）」です。

バルーン工法では、一面の2階の軒までの壁(枠組)を立て起こし、2 階の床は壁に指し込むようにして造られます。木材は2 インチと4 インチの太さのもののみを使い、手順も簡略化され、人数を揃えれば素人でも造ることができるようになりました。折しも、当時のアメリカ大陸では、蒸気機関の鉄道網が整備され、また水力による製鉄などの産業が、規格化された製材と釘の大量供給を可能としました。

バルーン工法の語源は諸説ありますが、造り方があまりに単純過ぎたので、専門の大工職人から、風で飛んでいく「風船（バルーン）」と揶揄されていた、という説が有力です。熟練した職人が柱と梁を組み上げる軸組工法と比較すると、工場で量産規格化された「軽く細い」製材と釘で造られた「壁」を立て起こすだけのバルーン工法は、あまりにも頼りなく見えたのでしょう。しかし、築100年を超えるバルーン工法の家が現存する事実は、この工法の確かな耐久性を証明しています。

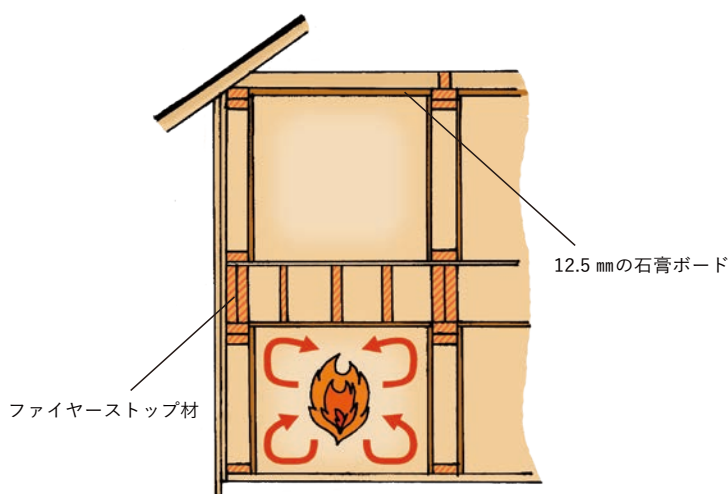
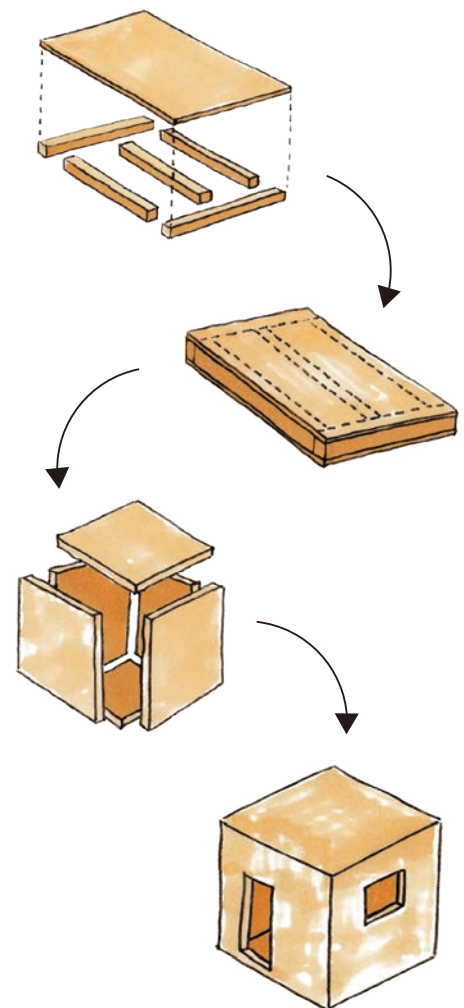


軸組工法からバルーン工法への移行で、重要なことは2つあります。第一に手順が合理化されたことです。経験則を明文化し、そのルールブックに基づいて造り上げるのです。規則に基づいて造れば、所定の性能を確保できるという考え方で、ルールブックには、使用する釘の太さや打ち方、枠組の造り方など様々な規則が詳細に書かれています。第二には、「線(柱)ではなく面(壁)を基本単位」としたことです。これは、木造住宅の歴史上、とても重要で画期的なアイデアでした。細い木材でも壁として一体化することで、太い柱よりも強い剛性を持つようになるのです。これらの考え方をさらに推し進めた工法が、私たちグッディーホームズもこだわっている「木造枠組壁工法（ツーバイフォー工法）」です。

画期的なアイデアでもあったバルーン工法にも弱点がありました。それは材料に長い木材を必要とすることと、防火性です。火災の際、2階の軒まで連続する壁内が、かえって空気の通り道となり、延焼の要因となっていました。

その問題を改善するため、枠組壁工法では、1階の床枠・1階の壁枠・2階の床枠（1階の天井）・2階の壁枠と構造を分けて、積み上げて構成されています。1階の壁と2階の壁を2階の床で分断することで、空気の流れを遮断し、延焼しにくい構造となりました。

また、平坦な床の上で作業できるようになり、枠のサイズが小さく軽くなったことで、より少ない人数で壁を立て起こすことができるようになりました。

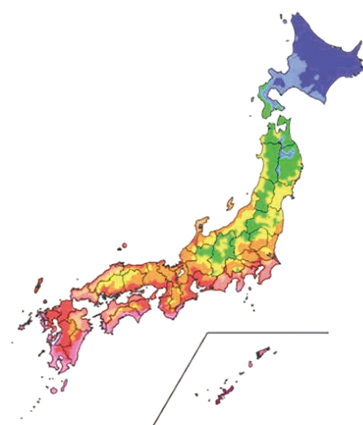


この間、構造用合板や石膏ボードの発明等の建材の進化があり、これを背景として枠組壁工法が完成。1950年代以降、アメリカとカナダ全土に急速に普及しました。

つまり、枠組壁工法と軸組工法は決して対立するものではないことがわかります。必要に迫られた住宅の生産性改善が、枠組壁工法を生み出したのです。グッディーホームズでは、この合理的かつ強い耐性を持ち、さらに耐火性の高い木造建築である「枠組壁工法の家」にこだわり、つくり続けています。

断熱と気密

住宅の断熱性能は、一棟一棟計算される「外皮平均熱貫流率貫流率 (UA 値)」が判断基準になります。グッディーホームズでは、UA 値は 0.4 以下をお勧めしますが、ご予算に応じて柔軟に対応いたします。



外皮平均熱貫流率 (UA 値)
UA 値 $[W / m^2 \cdot K] = (\text{温度差 } 1^\circ C)$

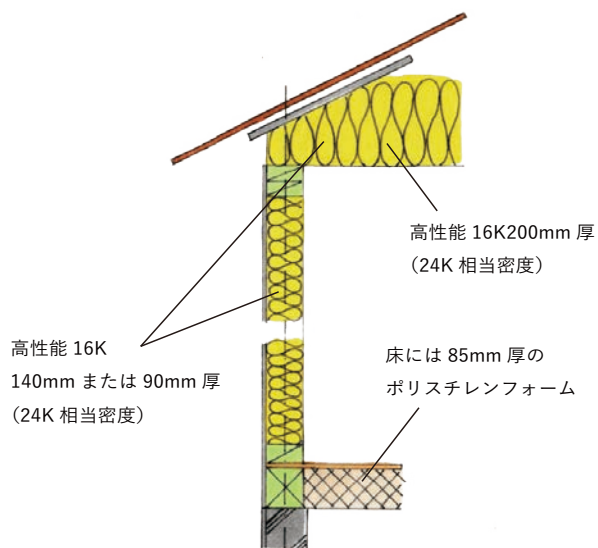
平成 28 年省エネルギー基準における UA 値							
1	2	3	4	5	6	7	8
0.46 以下	0.56 以下	0.75 以下			0.87 以下		基準なし

グッディーホームズがある神奈川県は、5～6 地域です。



断熱や気密の性能のみを追い求めると、窓が少なく、天井が低く真四角な間取りとなります。対してわたしたちグッディーホームズが得意とするのは、勾配天井や多角形の複雑なデザイン。このような間取りは、壁と勾配天井の取り合い、屋根と屋根との交差部等、一般的には、断熱の欠損や気密の漏れが起こりやすいとされています。





過去、断熱専門の会社に外注することも検討していましたが、わたしたちは施工技術の内製化を選択し、実際に様々なオーダーメイドの間取りの断熱工事を経験、試行錯誤してきました。そして今日、断熱工事のスペシャリストであると自負しています。（時折、検査員の方に、「ここまで丁寧に施工しているのですね」と驚かれるなんてことも！）どのような間取りでも、確実な施工をお約束します。

また断熱材は、部位に応じてグラスウール、ポリスチレンフォーム、フェノールフォームを適宜組み合わせて施工しています。気密材は、0.2 mm厚の防湿フィルムを基本に、各種シーリング材、コンセントカバーなどを使用しています。



コンセントボックスの周りも隙間なくグラスウールを施工。



パイプの隙間はテープで塞いで気密を高めています。



グラスウールは詰め込まず隙間なくぴったりと施工し性能を発揮させます。



窓

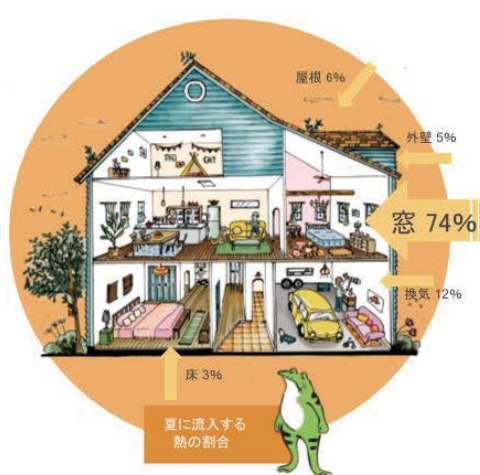
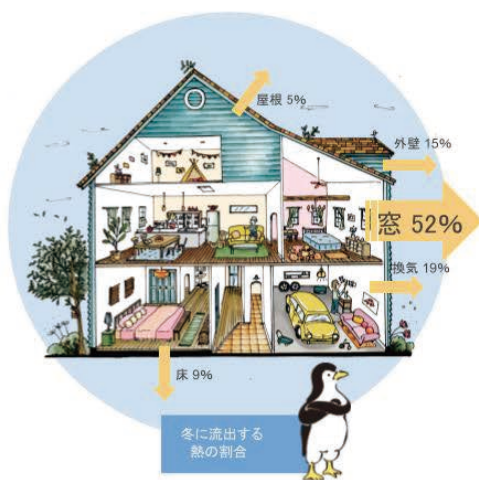


外観、エクステリアのデザインにおいて、アクセントをもたらす窓。インテリアにおいては、絵画のように四季を描き映し出し、住む人に鮮やかな陽射しと新鮮な空気をもたらす窓。家づくりにおいて、窓はこだわりたいポイントのひとつです。

わたしたちグッディーホームズでは、アメリカのアンダーセンの木製の窓、日本のクレトイシの樹脂製の窓をそれぞれご提案しています。

隔世の感がありますが、グッディーホームズが始まった頃、日本の主要窓メーカーは、アルミ製の窓しか製造していませんでした。断熱性能、気密性能を追求すると、アメリカやスウェーデンの海外のメーカーの窓を選択する他ありませんでした。

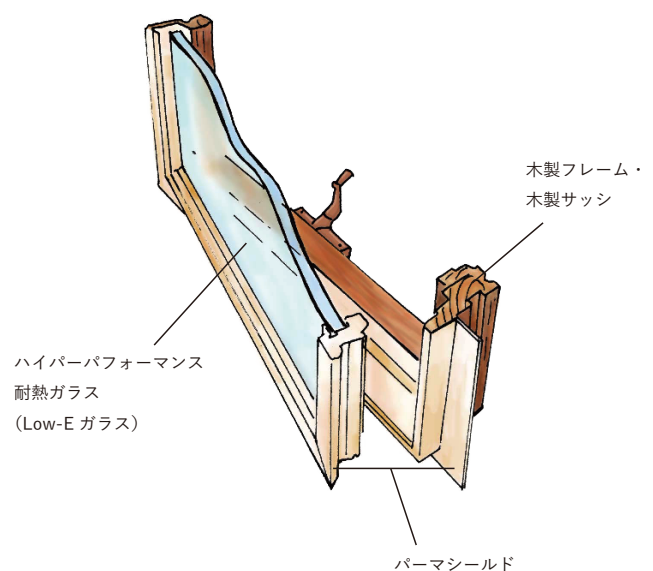
高度経済成長期の 1960 年代に、日本の住宅に導入され始めたアルミ製の窓は、耐候性や強度、寸法の安定性能に優れ、木製引き戸の建付けからくる隙間風や雨仕舞に悩む日本の住環境を大きく変えました。しかしその反面、断熱性能が低く結露の原因となっていました。結露はカビや腐りの温床隣住宅の快適性を大きく損ないます。2000 年代の初頭になると、日本は「窓後進国」とまで言われるようになっていました。



さて、2019 年の今日、世界で最も断熱性能の高い窓を造っている国はどこでしょう。アメリカでしょうか？スウェーデンでしょうか？いいえ、実はそれは日本なのです。2016 年、LIXIL は世界最高峰となる断熱性能（熱貫流率） $0.55\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ を実現した高性能窓「レガリス」を発表しています。2010 年代に入ってから、新築住宅における樹脂製の窓の普及は、結露に悩む日本の住環境を変えつつあります、現在では性能を求めて海外メーカーの窓を選択する必要もありません。

ではなぜ、今なおアンダーセンの窓を選択するのでしょうか。その大きな理由は優れたデザイン性にあります。室内側の木製枠が醸し出す温かみ、手触り、年を経るごとにますます重厚感、国内メーカーでは得ることができません。また外壁側の木部は、アンダーセン社独自の技術（パーマシールド）を使って耐候性のある樹脂で被覆し、雨風や日射から保護しています。

一方、クレトイシ社も、元々アメリカの樹脂製窓メーカー、サーティンティード社と提携していた会社ですが、近年満を持して自社ブランドのモンタージュを発表しました。モンタージュは、アメリカのサイズ・デザインをそのままに日本市場向けに開発、改良した商品です。日本のメーカーならではの品質の安定感が高い評価を得ています。





湘南の波と暮らす

SURFER'S HOUSE

趣味のサーフィンを楽しむため、海へのアクセスも考えたビーチハウス。

休日や平日の早朝に、ご家族で自転車を走らせ海へ通っています。

芝生やフェンスなどのエクステリアも、西海岸のサーファーズハウスをモデルに、遊び心満載。玄関横にはシャワースペースも完備。もっとも目を引くカバードポーチは10㎡以上の広さです。

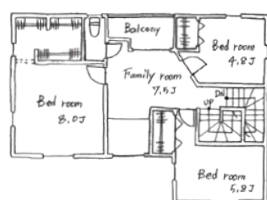
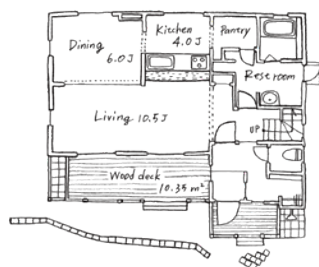
01





DATA

家族構成 ご夫婦+お子さま4人+犬
 構造 3LDK+小屋裏部屋
 敷地面積 153.57㎡
 建ぺい率 50%
 延床面積 134.34㎡



階段の壁も床も丸みのある左官仕上げ。1階リビングと同じ、ホワイトとイエローを混ぜたエコウォールという天然素材の壁材を使用しました。



バーカウンターのようなキッチンがお洒落です。リビングの床にはミストラル・イエローという自然石を採用。ダイニングとキッチンは赤松無垢のフローリングに切り替えています。



キッチンは両側から出入りができる間取りに。片側はパントリーを経て洗面脱衣室へと続きます。小さいお子さまがいるご家庭では、家事をしやすいお部屋の配置が重要ですね。



ヴィンテージの白いドアは、ご主人と社長とでアンティークショップへ出向いて見つけた一点ものです。

玄関床にはノルディックスライスという、アンティークの石畳が、フローリングには古材が使用され、表情豊かな空間が迎えてくれます。



2階のご家族それぞれの寝室は、お部屋ごとに壁の模様を選び、個性が光るお部屋づくりを楽しみました。小屋裏部屋は全面が青空の模様。白いドアはなんと社長の手づくりです！



02

吹抜けのリビングとプレイルーム

BUILT-IN GARAGE HOUSE

赤いポストが目印の、アーリーアメリカンスタイルのお家。すっきりとしたブルーグレーのラップサイディングにホワイトの縁取りは上品な印象。正面から見た切妻屋根と、東側にふたつ並んだドーマーが違った表情を見せてくれます。



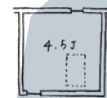
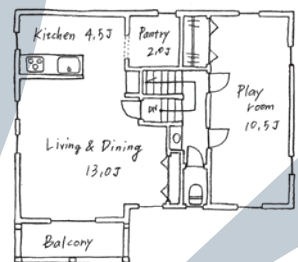
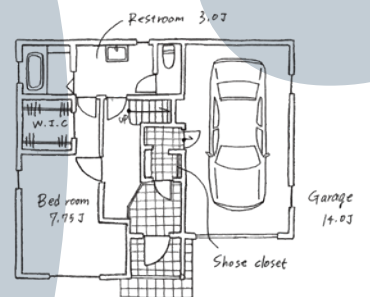


爽やかなグリーン系の家具やインテリアで統一されたダイニングキッチン。キッチンカウンターは石の天板を採用。清潔感のある明るい空間に。

テーブルにランダムに並んだ椅子は、奥さまのコーディネート。白いカーテンが揺れると、やさしい春風の香りがする、ご家族の憩いの場所です。

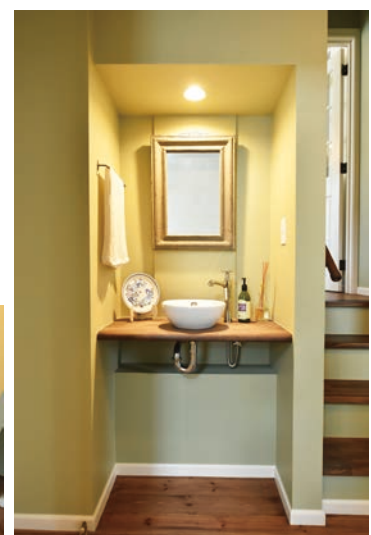
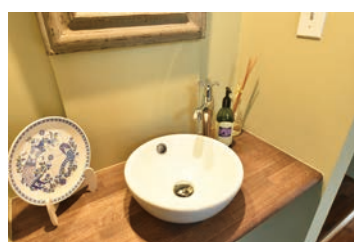
DATA

家族構成 ご夫婦+お子さま1人
構造 2LDK+小屋裏収納+ガレージ
敷地面積 130.10㎡
建ぺい率 60.16%
延床面積 122.54㎡



高い吹抜けのリビングにはシーリングファンが回り、お部屋の空気を循環。白いドアが爽やかです。

グリーンのクロスが落ち着いた雰囲気の下廊に、小さな手洗い台。ちょっとした空間にもこだわりが見られます。





ふたつのドーマーから光が差し込んだ、明るく広々としたプレイルーム。お子さまの成長と共に2部屋に分けられる間取りです。将来を見据えたお家づくりに胸が躍ります。



キッチンの上部は4.5畳の小屋裏収納。生活感を感じさせない収納はうれしいですね。リビング側から見える小窓がアクセントに。





03

スモーキーカラーのアンティークハウス

HOUSE with a ROSE GARDEN

見晴らしのいい丘に建つシックなお屋敷。白いウィンドルーバーが映えるクリーム色の外壁。シンメトリーにこだわった外観と、屋内には上品なアンティーク家具が並びます。毎年6月になると甘い香りの立ち込めるホワイトローズ・ガーデンが、シャビーシックなお家の雰囲気をもり一層優雅に演出してくれます。





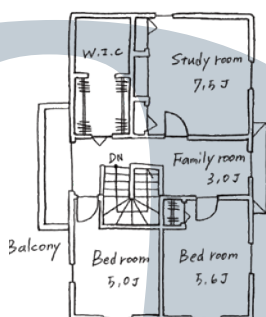
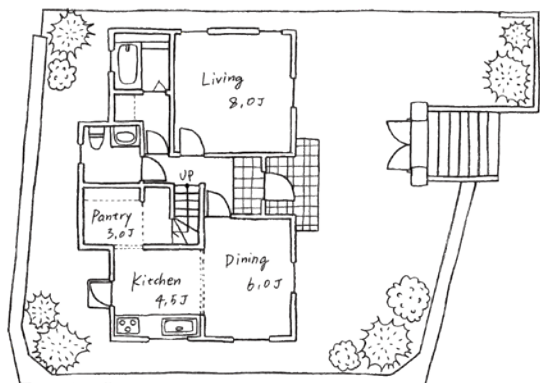


室内の壁には、石膏ボードにパテで下地処理を施したドライウォールを使用。キッチン側とダイニング側で色分けをしてあり、空間が上手に仕切られています。明るく大きなシステムキッチンは、お料理がすぎなご夫婦のお気に入りの場所です。



DATA

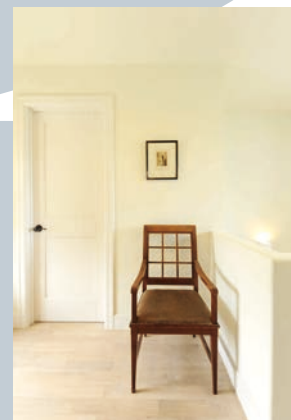
家族構成 ご夫婦+猫
構造 3LDK
敷地面積 220.47㎡
延べ率 45.83%
延床面積 97.73㎡



ご夫婦の本を収納するために、壁一面を本棚に！こちらも外観同様シンメトリー。左右の棚には扉を付け、圧迫感を感じさせません。洋書やディスプレイ用の本は中央に。



2階の寝室には、海外旅行が趣味のご夫婦のこだわりのインテリアが。床は、オークの無垢フローリングにホワイトの塗装を薄く。



リビングへ通じるドアの上部にステンドグラスを施しました。天井が高いシリーズだから出来る仕様。空間がぐっと深みを増します。



南フランスのぬくもりある暮らし

OLD FRENCH COUNTRY HOME

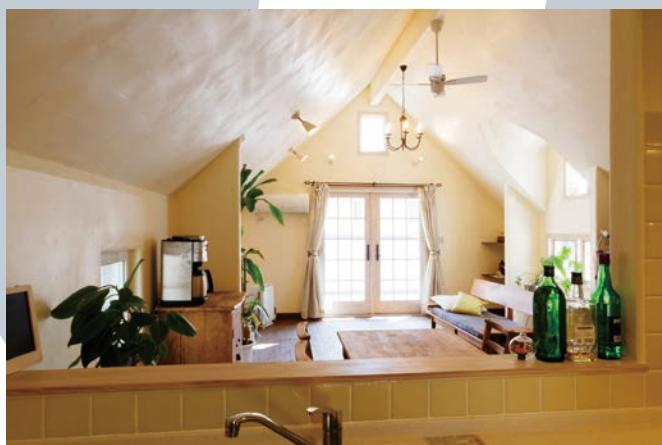
昔絵本で見た三角屋根、ヨーロッパの古民家を思わせる窓飾り、訪れた人を家の中へと誘う玄関のアーチ…どこか懐かしいファンタジーな雰囲気のお家。全体的に丸みのあるやわらかな左官の仕上げは、職人の技の賜物です。

04





メインとなる2階のリビングダイニングは、大きな勾配天井が特徴。広々とした空間に木漏れ日がやさしく差し込むと、都会の喧騒を忘れさせてくれます。奥のアーチをくぐった先にはかわいらしいキッチン。



キッチンカウンターから見える景色。低い位置に取付けた小窓や天井の母屋下がり、可愛らしくほっとする空間をつくっています。

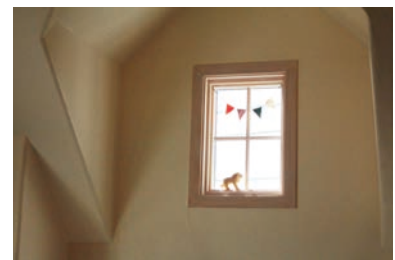


階段を上った先にある、ファミリールーム。造作のカウンターとロフトは使い勝手も様々。

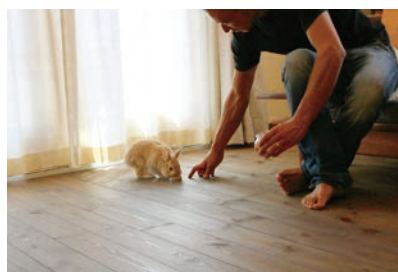
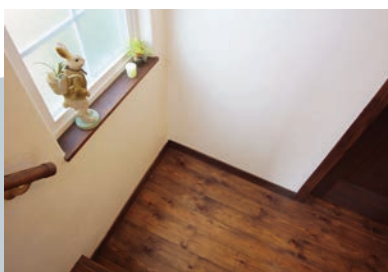


赤松無垢のフローリングには、ドイツのLivos社の塗料を使用。ビターチョコレートのような深みのある風合いが魅力です。

1年を通して裸足で過ごしたくなる心地良さです。

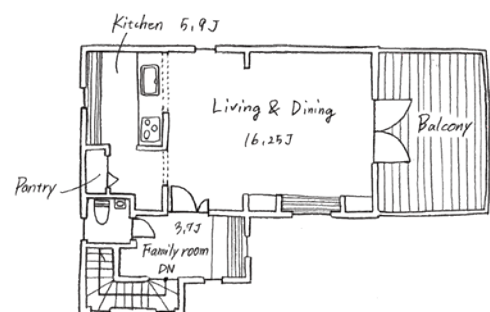
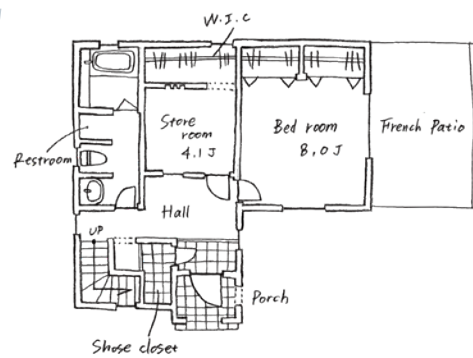


内壁はエコウォールと呼ばれる天然素材を使用。洞窟の中にいるような安心感です。



DATA

家族構成 ご夫婦＋お子さま1人＋うさぎ
構造 2LDK＋サービスルーム
敷地面積 128.00㎡
建ぺい率 50.09%
延床面積 110.22㎡



PROCESS MAP

START!



オープンハウス
家づくり相談会

ヒアリング &
プラン・お見積り

土地探し・現場調査
・ローン事前審査
・土地購入申込み



土地ご契約

設計お申込み

より細かくお打合わせしていく為に
お申込みをいただきます。

プラン詳細お打合わせ

コーディネーターを交えて、
より具体的なお打合わせをします。

地盤調査

荷重や沈下に対する土地の強度について調査します。
地盤補強の有無により資金計画もほぼ固まります。

建物契約

金銭消費貸借契約

銀行とお客さまとの契約です。

確認申請提出

建物確認申請承認

検査機関に必要書類を提出し、
建築確認を申請します。
およそ1週間で本審査の結果が出ます。

土地お引渡し

ご融資実行

土地のお引渡し、ご融資の日にちに合わせて
お家の着工日を調節します。

地鎮祭

着工

上棟

建物の骨組みが完成。
実際に建物の中に入り、電気配線などの最終確認を行います。

竣工

マイホーム完成!

ご清算と鍵のお引渡しをし、
新しい暮らしの始まりです!

FINISH!!!



リフォーム & リノベーションのご相談もお気軽に。

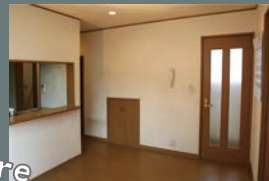
古い持ち家を改造したり、中古マンションや中古戸建を購入し、自分のこだわりあるお家につくり替えたい方へ。



After



Before



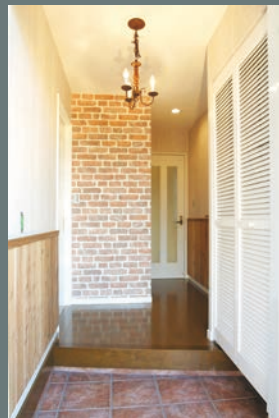
01.

◀ ドアや壁をなくし、ひとつの大きな空間にすることで開放感あるLDKに。床はあたたかみのある無垢材のフローリング。アンティークテイストの家具やナチュラルな雑貨が似合う、ホワイトのクロスに張り替えました。キッチンカウンター上には飾り棚を造作。憧れていた、フェミニンでかわいらしい空間に生まれ変わりました！

02.

▶ 暗い雰囲気だった玄関ホール。ナチュラルホワイトの輸入建具に変更しました。ルーバー付きのシューズクローゼットは、デザインだけでなく通気性も良くて快適。

玄関に入って正面の壁は明るいレンガ調、サイドには腰壁でアクセントを。



After



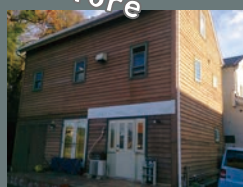
Before



After



Before



03.

◀ 既存の建物にカバードポーチを増築しました。のっぺりとした印象だった正面玄関に、アーリーアメリカンなカッコいい底とアウトドアリビングが誕生。外部照明も取り付けたので、夜でも明るい雰囲気です。

デッキにテーブルを出して食事をするなど、お家の楽しみの幅が広がりました！

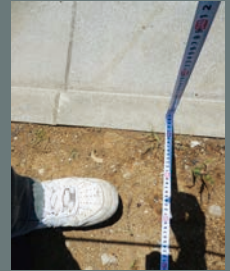
土地探しからはじめるマイホームづくり！

グッディーホームズではこれから土地をお探しのお客さまをサポートします。

土地の見える部分だけでなく、建築やその後の暮らしのリスクやデメリットも、一緒に建築家がお調べするので安心です。

家づくりをする工務店と土地を探すこと。

- メリット1 土地ごとに建物のプランを作れて、総合的に比較しながら決定できる！
(先を買ってしまった土地の条件に、プランが左右されることを回避できます。)
- メリット2 資金計画がぶれず、予算通りのマイホームが手に入る！
- メリット3 仲介手数料が半額以下！



例えば、2500 万円の土地の場合…		
グッディーホームズ		一般的な不動産屋さん
1.5%	約 47 万円も お得！	3% + 6 万円
405,000 円 (税込)		874,800 円 (税込)



大きなカバードポーチで
家族で BBQ をするのが夢。
予算は確保できる？

愛車を置く駐車スペースは絶対！
ガレージがある建物が理想！

子どもや愛犬と遊べる
広いお庭が欲しい！
でも、お家を狭くはしたくないな。



Goodyhomes.inc



グッディーホームズについて。

グッディーホームズは、輸入住宅の建築を行なっている工務店です。
営業・設計・現場の各担当がチームを組んで、土地探しからお家の完成まで一貫してサポートします。

ハウスランティ住宅ワイドサポート

万が一、建築途中に事故や倒産などで工事がストップした場合でも、建築中から建築後にわたってお客様の3つのサポートで安心・快適をお守りする一般社団法人の「ハウスランティ住宅ワイドサポート」に加入しております。

※①工事引き継ぎサポート

②補修・メンテナンスご相談サポート

③長期瑕疵補修サポート



20年の地盤保障

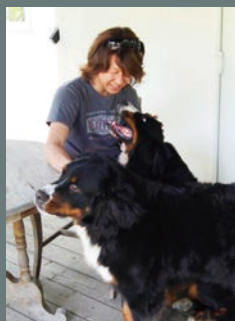
不同沈下などの地盤のトラブルによって住宅に損害が発生した場合に、建物や地盤の修復費用を20年保障する「ハウスランティ地盤保証」に加入しております。

住宅瑕疵担保責任保険

「住宅瑕疵担保履行法」に対応した住宅保証機構の「まもりすまい保険」に加入しております。住宅品質確保法で定められた基本構造部分（構造耐力上主要な部分及び雨水の浸入を防止する部分）を対象とし、新築住宅のお引渡しから10年間は、補修費用に対して保険金が支払われます。

※新築時の保証

※火災・地震などによる損害については別途保険の加入が必要



二見 正樹

Futami Masaki

二級建築士。宅地建物取引士。

ヒアリングから設計、大工、現場管理まで一貫して行う。

趣味はアメ車、バイク、欧米の旅。



グッディーホームズ有限公司

Goodyhomes. inc

〒251-0035 神奈川県片瀬海岸 2-6-10

Tel : 0466(90)3300 / Fax : 0466(90)3344

HP : www.goodyhomes.com